

科目名称	地域福祉論
授業コード	BL307
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	井岡 由美子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について学ぶ ・地域社会の現状と地域生活課題，その変化を踏まえ、包括的支援体制について学ぶ ・包括的支援体制の基礎知識と実現のための他機関協働について学び、課題と展望について考察する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	地域福祉の実践の現場での経験から，テキストの内容について具体的資料を提示し，また実践経験から解説することで，理解を深める一助とする。
到達目標	<p>カリキュラム・ポリシーに掲げる「社会福祉士，精神保健福祉士に必要な知識技術の習得」のために，以下を目標とする。</p> <p>地域福祉の基本的な考え方，展開，動向について理解する。</p> <p>包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際を理解する。</p> <p>地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制についての基礎的知識を生かし、地域におけるソーシャルワーク実践を目指す</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 地域社会の概念と理論 3 地域社会の変化 4 地域社会の変化と対象の多様化 5 地域生活課題の現状 6 地域生活課題の現状と社会的孤立など諸ニーズ 7 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 : 地域包括ケアシステム 8 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 : 生活困窮者自立支援 9 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 : 包括的支援体制 10 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 : 地域共生社会の構築 11 地域福祉ガバナンスと多機関協働 : 地域福祉ガバナンス 12 地域福祉ガバナンスと多機関協働 : 多機関協働と多職種連携 13 地域共生社会の実現に向けた多機関協働 : 連携対象としての福祉以外の分野と協働の実際 14 地域共生社会の実現に向けた多機関協働 : 社会資源 15 地域福祉の基本的な考え方 : 地域福祉の概念と理論
授業の進め方	<p>基本的にはテキストに沿いながら，パワーポイントや配布資料により講義を行う。</p> <p>授業の進行に応じて，小テストや振り返りの課題，小レポートなどを実施する。</p>
能動的な学びの実施	<p>基本的にはテキストに沿った講義を行うが，授業で提示した地域課題などについて興味や関心により自主的に学習を広げること。</p>
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にwebclassにレジюмеを掲示するので，テキストの該当部分及び必要に応じて関連資料を予習として読むこと。 ・授業終了後はレジюмеや配布資料，参考HPなどを確認しながら，テキストの該当部分を読み返し理解を

授業時間外の学修	<p>深めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストは、解説を確認しテキストや参考資料の該当箇所を読み、全体的な理解を深めること（各回2時間程度）
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座『地域福祉と包括的支援体制』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規 2021年</p>
成績評価方法と基準	<p>定期試験（70%）、課題や小テスト（30%）</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業課題や小テストは、翌授業で解答・解説を行う。 ・授業冒頭で前回授業の振り返りを行う
オフィスアワー	<p>Campus Square を参照</p>
留意事項	<p>本科目は、社会福祉士並びに精神保健福祉士国家試験受験資格取得の指定科目です。資格取得を目指す場合は、指定年次に「 」 「 」の順で必ず履修すること。</p>
非対面授業となった場合の「 授業の進め方 」および「 成績評価方法と基準」	<p>原則としてzoomでの授業を行う 対面授業と同じ</p>